

岡崎市議会議長 様

支出番号	2 - 2
------	-------

会派名 自民清風会
代表者名 磯部 亮次

下記のとおり、政務活動を実施したので報告します。

政 務 活 動 報 告 書

令和7年5月16日提出

活動年月日	令和7年5月7日（水）～5月9日（金）		
氏名	金山 直樹		
用務先 及び 内 容	1 5月7日	用務先	全国市町村国際文化研修所（大津市）
		内 容	令和7年度 市町村議会議員研修[3日間コース]「新人議員のための 地方自治体の基本」第1回 1日目
	2 5月8日	内 容	令和7年度 市町村議会議員研修[3日間コース]「新人議員のための 地方自治体の基本」第1回 2日目
	3 5月9日	内 容	令和7年度 市町村議会議員研修[3日間コース]「新人議員のための 地方自治体の基本」第1回 3日目
	4 月 日	用務先	
		内 容	
備 考			

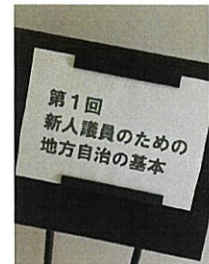
政務活動視察報告書

視察日程	: 5月7日、8日、9日(3日間)
視察内容	: 地方自治基礎研修 受講
視察者	: 金山直樹

1. 研修概要

2025年5月7日～9日の3日間にわたり、地方自治の基本に関する研修を受講しました。研修では、地方議員として必要な基礎知識を習得し、今後の岡崎市政における提言・提案に活かすことを目的に受講。研修は、以下の5つのテーマ

1. 地方自治制度の基本構造と時代背景
2. 地方議会制度と議会に求められる役割
3. 自治体財政の仕組みと財政分析
4. 条例・政策の審議と立案
5. 地方議員の今後のあり方と住民参画



2. 研修内容と今後の活用

① 地方自治制度の基本

内容要旨：

日本の地方自治制度は、単一国家体制の下で中央集権的性格を有しつつ、地方自治体と国が融合型で行政を担う構造です。現在は人口減少などの環境変化により、広域連携や市町村合併を通じた効率化が進められています。自治体議会は住民代表機能・政策立案機能・監視機能を担い、広報活動を含めた住民への説明責任が求められます。

今後の活用：

岡崎市は、全国でも数少ない財政力指数1.0以上の非交付団体(全国で54団体)です。この財政的自立性を踏まえ、市独自の施策展開とともに、国県補助の活用による戦略的な施策実行の必要性を理解しました。今後は、「何を、いつまでに、どうしたいのか」という視点を持ち、施策の進行管理と議会としての監視機能を徹底していくことに役立てます。

② 地方議会制度について

内容要旨：

地方議会は、地方自治法のもとでその職務や役割が明文化されています。議会運営における発言区分（質疑・質問・討論・動議等）には明確なルールがあり、特に「質疑」や「委員長報告」では個人の意見表明が制限されています。

今後の活用：

議会の法的枠組みと発言のルールを正しく理解し、効果的で正確な議会活動に取り組めます。質疑や委員会での発言においても、適切な形式を守りながら、実効性のある提言を行ってまいります。

③ 地方議会と自治体財政

内容要旨：

地方財政は、国と地方の税財源配分のバランスのもと、地方交付税や国庫支出金により成り立っています。地方自治体の会計は、単式簿記、現金主義、出納整理期間など民間会計とは異なる特徴を持ちます。

今後の活用：

市民への説明や議会内での予算審議において、民間会計との違いを意識し、適切な表現で説明責任を果たします。行政とのやり取りにおいても、会計的背景や財政構造を理解したうえで、質問や提言を行ってまいります。

④ 条例と政策の審議・立案

内容要旨：

政策立案には「立法事実」の明確化と条例化の必要性を見極める視点が求められます。近年は、国の法令の白地部分を自治体条例で補完する役割も拡大しています。条例には理念条例や法律補完型条例、政策条例などがあり、それぞれに目的・手段・構成要素の整理が重要です。

今後の活用：

岡崎市での条例提案に際しては、条例の種別や構成要素（目的、定義、義務、指導、委任等）を意識し、市民にとって実効性の高い条例かどうかを判断する視点を養っていきます。また、自らの政策提案時には、ビジョンを明確化し、根拠ある立案を行ってまいります。

⑤ これからの地方議員に期待されていること

内容要旨：

地方議会のデジタル化と住民参画の促進が急務とされています。議会活動の効率化にとどまらず、住民への情報提供、双方向コミュニケーションの強化が期待されています。また、低投票率や議員のなり手不足といった課題にも、政策発信や参加満足感の醸成による対応が求められています。

今後の活用：

今後の市政報告や広報活動においては、チラシ、SNS、対面形式等、手段の特性を活かしつつ、市民の関心・理解を深める情報発信を行ってまいります。とくに、「誰に」「何を」「どのように伝えるか」を明確にし、議会と住民との距離を縮めていきます。

3. 総括

今回の研修を通じて、地方自治の基礎的知識とともに、議員としての姿勢・役割・技術的知見を深めることができました。岡崎市の特性を踏まえながら、これらの学びを政策提案・議会活動・住民との対話に積極的に活かし、持続可能な地域社会づくりに貢献してまいります。